

# 碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可  
 神奈川 碩 会 発 行

7年 返葉大合	6月現在 地区区計	会員数 175名 202名 43名 420名	7年 根編中	6月 岸村	(275号) 者萃 者愛	行集 岳岳
------------	--------------	------------------------------------	-----------	----------	--------------------	----------

## 七月の予定行事

○岳風忌

日時・7月1日(日)

場所・諏訪地蔵寺

合祀・碩心会から、白井寿岳・森田嶺  
 岳両名の方が合祀されます。

○準師範講習会

日時・7月23日(日)

場所・平塚農業会館

顕彰絵・草柳武風

○総本部主催夏期吟道講座

日時・7月29日(土)  
 7月30日(日)

場所・九段会館ホール  
 日本教育会館

~~~~~

碩心会 秋季審査会

左記の通り決定いたしましたので、受審の  
 皆さん、がんばって下さい。

日時・9月24日(日)

場所・逗子市立図書館ホール

(許証部)

## 平成7年度碩心会理事会議事録

○日時・平成7年5月29日(月)午後7時より

○会場・葉山一色会館

定刻松井正岳庶務部長の司会により、理事  
 会の次第に従い、先ず千葉岳閣副会長の開会  
 のことばに続き、中村岳郵許証部長の先導に  
 て「碩心会の詩」を全員起立して合吟した。

次に会長挨拶を、加藤岳相副会長が会長代  
 行として「当会の理事会は総会に代る大切な  
 会議であるので、議案を充分審議して頂きた  
 い。特に会長が病気で不在であるので議事が  
 スムーズに進行出来ます様皆様の御協力をお  
 願いします」と挨拶した。

理事会の議事に入るに当って、司会から議  
 長及び書記の選任を如何にすべきかを諮った  
 処、会長代行に一任することとなり、会長代  
 行は加藤(剛)、千葉副会長で議長団を形成し  
 ての運営と、書記には宇都宮徳岳総務副会長  
 を指名して承認された。

議事に入って(-)平成6年度収支決算書の審  
 議については、矢嶋悦岳会計部長が別紙の「

平成6年度収支決算書」(本誌651, 027頁)

「特別会計60周年大会積立金(1,195,710円)

「特別会計教本その他」を夫々詳細に説明した上、鈴木岳抄会計監査の「調査の結果いづれも正確且適正と認める」との監査報告がなされ、異議なく満場の拍手で承認された。

引続いて(二)「平成7年度予算案」を別表に依り説明し、之に付言して松井庶務部長から「今年度は7年振り会員名簿を発行する予算を組み込んで9月1日現在の印刷配布を予定している」との報告があった外、決算予算を通じて二、三の質問があったが、夫々丁寧な説明によって納得され、賛否を諮った処満場の拍手で承認され、予算案を予算書とすることにした。

ここで議長は加藤副会長から千葉副会長に交替し(三)各地区長及び各部長の報告に入った。

逗子地区長 村田瀨岳

○5月6日皆伝会、5月14日逗子市春季吟道発表会、6月11日横須賀第2地区吟道大会、

6月25日傾心会吟道温習会等への、出吟の協力について会員に厚くお礼申し上げます。

葉山地区長 沼田義岳

○逗子地区長と同様、各大会への出吟割当へ

の地区会員の御協力には感謝の外はない。

この上へのお願いで恐縮だが、出吟者名簿には必ず会の順番、段位を記載してほしい。

大船地区長 木村松岳

○来年の初吟会の当番に大船地区が当っておりますが、慣れぬ上、人員も少いので何卒皆様の御指導と御協力をお願いします。

総務部長 加藤岳洵

○昨年の理事会で総務部の業務を分割して庶務部を新設したが、総務部は会則、規約の整備、傾心会の周年大会の企画立案、皆伝会の推進、各地区、各部に属さぬ業務を担当する事になっている。

○会則規約の整備については、各地区長、各部長の業務分掌、弔慰金等を見直し中であり、60周年大会も二年後に控え、来年より準備に入る予定である。又皆伝会も今年の反省として、懇親会併催も早期に手当てれば不可能ではなく、来年は大船地区が担当幹事となるのでよろしく願います。

庶務部長 松井正岳

○横須賀第2地区吟道大会、神奈川県吟道大会等への出吟割当の連絡方法に一部不手際があつて御迷惑をお掛けして申し訳無く、

今後は出来るだけ早期に適確に連絡する様努力したいのでよろしく願います。

○6月18、19日の寒河江吟友会姉妹会盟約10周年吟行会の参加者は82名となり、バス2台での吟行となつて、寒河江吟友会側も歓迎の準備をしている由である。

会計部長 矢嶋悦岳

○平成6年度決算及び平成7年度予算の議題について、御承認を頂きまして有難度うございました。

○いろいろと御心配を頂いている、総本部費の一括納入も前期分は納入を了しています。

企画部長代理 上村象岳

○寒河江吟行会については、綾部部長が病気の為、松井庶務部長他にすっかり御世話になり厚く御礼申し上げます。

○6月25日第18回傾心会吟道温習会の成功を期しておりますので皆さん方の御協力をお願い申し上げます。

尚この温習会の役員は、大変御苦勞様ですが各役員の業務指針を責任者に本日お渡しますのでよろしく願います。

許証部長 中村岳郵

○5月1日から昇段審査が漢詩、和歌、俳句、

新体詩の課題の中、審査時に指定するのを  
変えて各自が選んだものを一題だけやる様  
に緩和されました。しかし緩和されたから  
と言って他の課題は全然練習しないと  
ことではなく、全部練習した上の中から  
一つを選んで受審して貰い度い。

○今年になって行われた各審査の合格者への  
許証は6月25日傾心会温習会にて行います。  
○秋の昇段審査は会場は未定であるが期日は  
9月24日(日)を予定している。

○再入会者は入会届に現在の段位とその取得  
年月日を記入して貰い度い。

教務部長 杉山岳雪

○7月29、30日総本部夏期吟道講座への出席  
は現在千葉副会長以下4名。8月6日県本  
部指導者夏期講習会への出席は48名である。  
○春季昇段審査で合格した、3名の準師範者  
は6月25日に許証されるので6月の指導者  
講習会から参加して下さい。

広報部長 中村岳愛

○月報「傾心」は7月号276号を以て創刊以来  
一回の休刊もなく満23年となる。

○関係行事を月報に必ず掲載しているのよ  
く読んで承知して下さい。

○会員の入退会、昇格昇段、住所変更も掲載  
しているのでその都度名簿を訂正加筆して  
名簿を活用して下さい。

以上で各地区長、各部長の報告を終り、(四)  
「其の他」の項として両議長から次の報告と  
説明がなされた。

○千葉議長から神奈川県本部の総会での決定  
について。

今回は人事はなく規約の改訂が次の通りな  
された。

(a)議長団(任期2年)の常設。(b)根岸、岡  
嶋両総本部理事は専務理事とする。(c)本部  
長は推挙から選挙を優先する。(d)会費の値  
上げ。(e)参事には特命事項を命じて活用す  
る。(f)定年制は趣味の会のボランティア的  
役職にはなじまないとの意見が制しあり。

○加藤議長から昇段審査の緩和について。

今回の審査緩和は高段者の審査で成績が悪  
く、完全に出来ないのは課題が多い為では  
ないかとの配慮から、一題でもまとも吟  
詠出来る様にとの趣旨で緩和されたもので  
ある。

この趣旨を理解して練習の上受審されたし。  
千葉議長は全般を通して質問の有無を確かめ

別段に質問がないことを確認して理事会の終  
了を宣し、議長団及び書記を解任した。

最後に加藤岳洵総務部長が、「傾心会の会  
員減少傾向が止まらないのは憂慮に堪えない  
が、各理事の皆さん方の御協力によって逐次  
増員に御尽力願いたい。今後も健康的な且楽  
しい運営を計って行きたいのでよろしく願  
い」と閉会のことばがあつて幕を閉じた。

尚、本日の理事会は全理事64名の中出席者  
は委任状2名を含み46名(約72%)であつた。

宇都宮徳岳 記

### 身近な詩から

詩吟人口の減少気味といわれる昨今、詩吟  
に関心をもつてもらう一つの策として、身近  
な、解りやすい詩から…というのも一つの方  
法ではなからうかと思ひます。そんな意味で、  
愛吟集30頁の「名鎗日本号」を勉強してみま  
しょう。

名鎗日本号

美酒元来吾が好む所

斗杯傾け尽くして人驚倒す

古謡一曲芸城の中

呑み取る名鎗日本号

(解説)

民謡「黒田節」に材をとり、黒田藩(現在の福岡県)の母里太兵衛が、福島正則所有の名鎗日本号を賭けて大杯を呑み干した故事と、当時の武士の心情を詠ったもの。

(語釈)

(名鎗) 福島正則がもっていたという名鎗で名を日本号という。(斗杯) 一斗も入る大杯(驚倒) 見事な呑みっぷりに驚く。(古謡) 筑前今様。民謡「黒田節」のもとになったもの。(芸城) 芸州(安芸) 現在の広島県の陣屋。関ヶ原の合戦後の伏見城のことといわれる。

(通釈)

美酒はもともと自分の好むところである。すすめられるままに、大杯になみなみと注いだ酒を呑み尽くすと、座に居る者どもは皆倒れんばかりに驚いた。黒田節の歌われているこの城の陣屋で、見事斗杯を呑み尽くして、約束の名鎗日本号をわが物にしてみせようぞ。

(備考)

「黒田節」は元来、筑前黒田藩の武士が歌った祝い歌。現在広く歌われている歌詞は、昭和の初期に作られたもの。名称の「黒田節」は黒田武士のあて字。

「奥の細道」山形で詠んだ句

寒河江吟行会が近づいてきました。山形といえは、芭蕉の「奥の細道」が浮んできます。元禄二年(一六八九年)旧暦3月27日、今でいえば5月16日のこと、芭蕉は江戸深川を発ちました。そして山形県内を歩いたのは、紅花の花盛りの初夏7月のはじめ頃からの43日間。「奥の細道」に詠まれている句は全部で51句で、そのうち次の13句を、芭蕉は山形で詠んでいます。

- 涼しさを我宿にしてねまる也(尾花沢)
- 這出よかひやが下のひきの声( )
- まゆはきを佛にして紅粉の花( )
- 閑さや岩にしみ入蟬の声(立石寺)
- 五月雨をあつめて早し最上川(大石田)
- 有難や雪をかほらす南谷(羽黒山)
- 涼しさやほの三日月の羽黒山( )
- 雲の峰幾つ崩て月の山(月山)
- 語られぬ湯殿にぬらす袂かな(湯殿山)
- あつみ山や吹浦かけて夕すずみ(酒田)
- 暑き日を海にいれたり最上川( )
- 象潟や雨に西施のねぶの花(象潟)
- 汐越や鶴はぎぬれて海涼し( )

林真岳様を偲んで

岩崎岳恵

5月6日の皆伝会の朝、大船A林真岳様の訃報を知りました。思えば昭和41年4月に大船教場が出来、会員も次々に増え、とても楽しいお稽古でした。教場も色々の事情で何度か変りましたが、その度に真岳様のお世話になりました。振り返ってみますと、早や30年になろうとしております。

詩吟が大好きで、五年前十段を取られ、まだまだこれから何時迄も思っております。のに……永久のお別れとなってしまう。御葬儀が終り、初七日の法要が行なわれ献花のあと、戸塚支部の鈴木萃岳先生並びに、大船A有志で、追悼の詩を吟じ、心より御冥福をお祈り申し上げます。

通夜はてし闇の深さよ椎の花(岳恵)

(住所変更)

197 一柳良風(新)横須賀市衣笠栄町2-11-13

ライオンズマンション

衣笠駅前七〇四

☎〇四六八-五三三-三九〇五

(退会)

16 林真岳(死)大船A